

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月25日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104563
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ黎明
所在地	鹿児島県鹿児島市照国町3番18号 (電話) 099-227-1180
自己評価作成日	平成29年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年4月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・家庭的で明るい雰囲気作りに心がけています。高齢化、重度化された皆様が多いなか、ご家族の皆様のご協力を頂きながら、楽しく生活しております。職員の定着率は大変高く自慢の一つです。地域との交流も多く、町内会、いあご会、近隣の皆様もとても協力的です。防災対策も町内会の協力を頂けるように「ヘルプ照国」を、立ち上げて頂いています。近くのコンビニやケアハウスも協力を頂けるように、お願いしてあります。母体が医療法人であるメリットをいかし、24時間緊急対応も出来ています。近くに照国神社を始め中央公園、平田公園、ザビエル公園、文化施設もあり、よく散歩に出かけています。天文館も近く、美味しい物を食べたいと言われる方が多く、少人数で、外食に出掛けたり、ご家族に連れだして頂いたり、外出の出来ない方には、出前を頼んだりしています。季節の行事も楽しんでいます。花見、春秋の木市、ソーメン流し、コスモス、菊祭り、おはら祭などの見学、照国神社の豆まき、6月灯、ホームでの夏祭り花火大会、山下校区の文化祭、いあご会おぎおん祭、鏡開、敬老会、お誕生会、等々、ボランティア、ご家族のご協力をいただきながら楽しんでいます。毎日、笑い声の絶えない、したい事、出来る事を、遠慮なく言えるグループホームです。口腔ケアにも力を入れております、毎食後の歯磨きはもちろん、歯科医師の方とも情報共有をおこない、いつでも、治療、ケアが出来るようにしています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は城山と照国神社を背景にいくつかの公園も点在する静かな住宅地域に立地している。周囲には小学校や医療機関・商業施設・博物館・美術館などの文化施設もある。
- ・町内会に加入し、地域行事や清掃活動にも積極的に参加する一方、事業所の防災対策や避難訓練にも地域住民の協力がある等、日常的に交流している。
- ・管理者や職員は利用者の習慣や思いを把握し、少人数で外食に出かけたり、出前を頼んだりして、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。
- ・母体の協力医療機関及び在宅療養支援診療所との24時間の医療連携体制が築かれており、医療面における家族・職員の安心となっている。
- ・系列のグループホーム間で協力関係が築かれており、管理者会で得た情報等をホーム運営に活かしサービスの向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自分たちで、作り上げた理念に基づいて毎朝唱和し、認識しケアを行っています。	理念を玄関・事務室等に掲示し、パンフレットにも掲載している。毎朝唱和して振り返り、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域、あいご会、校区の催し物等、声掛けして頂き参加しています。小学生、中学生が下校途中に、ご近所の皆さんも良く声掛けして下さいます。	町内会に加入し、あいご会や校区文化祭・バスツアー等の地域行事にも積極的に参加し、小学生や中学生などが遊びに立ち寄ったりもする。看護学生の実習やボランティアの受け入れなども行っている。地域の見守りもあり、地域と親しく交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会の総会や地域行事等に参加し、交流を通して、理解や支援を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回開催しています。ご家族、地域住民、民生委員、長寿安心相談センターの方々に参加頂き、ホームでの取り組みや様子を報告しご意見をお聞きし、サービスの向上に努めています。	会議は定期的に開催している。事業所の状況や外部評価の報告などを行い、避難訓練と一緒に実施している。参加者から多くの助言や提案が出され、尊厳死についてや車椅子の選び方・防犯灯や火災報知機・入り口にミラーを設置するなど、サービス向上に活かしている。認知症に関する相談や情報提供を行う等地域への情報発信の機会にもなっている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	長寿安心相談センタースタッフをはじめ、市役所とも空き状況や困難ケース、クレーム、事故状況等連絡を取りながら、協力関係を築いています。	市担当者とは、電話や窓口に出向き更新手続きや事業所の実情などの取り組みを伝え、連携を深めている。毎年介護相談員を受け入れ、市主催の研修会にも積極的に参加している。地域包括支援センターとは、運営推進会議を通して協力関係ができるいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月身体拘束廃止についてツ勉強会を開き職員全員が身体拘束をしないケアを行っています。正面玄関のカギは常に開けてあります。	マニュアルを基に毎月、事例や課題に基づいた勉強会を実施している。ケガや転倒がないように配慮し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し、特に赤ちゃん言葉の使用は禁止している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域の見守りもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体的、精神的虐待はもちろん、言葉による虐待も行なうように、研修や勉強会を通して学び、職員同士厳重に注意し防止に努めています。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する研修会に積極的に参加し、職員やご家族へ情報提供を行い、いつでも活用できるようにしています。成年後見人制度について現在活用中の方もおられます。			
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、必ず共に読み合わせを行い、質問等の時間を設け納得して頂いたうえで、契約を行っています。解除についても同様にしております。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に「ご意見箱」を設置しています。ご利用者、ご家族が職員にいつでも、何でも意見、要望が言えるようにしています。運営推進会議も一役買っております。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、介護相談員の結果も参考にしている。家族からは面会や家族会・電話・運営推進会議で意見を聞く良い機会となっている。入居する際に、障子の張り替えや居室をクリーニングして欲しいという要望に、職員で話し合い反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の申し送りや、月1回の職員会議を利用して意見や提案を聴き反映させています。	管理者は毎朝の申し送りや毎月の職員会議で職員の意見等を聞く機会を設けている。利用者への対応等についての意見統一を図る機会でもあり、ケアに関する意見や提案が多い。職員全員で検討して反映させている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格手当や待遇改善手当、サービス加算など取得し、資格取得の為の研修会の参加、公休、有休もとりやすい環境を作っております。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全ての職員を対象に研修に参加できるようにしてあります。有料の研修に関しては、法人が参加費を負担しており、研修報告を行い質の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鹿児島市グループホーム協議会に加入し、随時勉強会や交流会に参加し交流をしています。地域包括支援センターを介し、同業者との情報交換も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、ご自宅、施設、病院等訪問し面談を行ったり、ホームに来ていただき、出来るだけご本人の意向に沿ったケアが出来るように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前いつでも、何回でも見学に来ていただき、管理者、職員、入居者の皆様と話をしたりして、ホームでの雰囲気などを見て頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居のご相談があった時、その方がグループホームの利用で良いのか、ここ以外のサービスの方が良いのではないか、良く話し合い、見極めを行い、他のサービスの紹介もしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人と人とのお付き合いと言う姿勢で共に出来る事は一緒にを行い、共に笑い、涙を流し、時に叱咤を受けながら、信頼関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気軽にいつでも面会に来ていただき、外出、外泊されたり、ホームや地域の催しものへ参加などを一緒に楽しんで頂く機会を作っています。携帯電話や電話も自由にお使いです。			
20 8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族はもちろん、親戚や知人、自由に交流できるように支援しています。	家族や馴染みの友人・知人の訪問を奨励し、継続的関係が途切れないと働きかけている。馴染みの店での買い物や出前注文もしている。手紙・電話の取次ぎなども行っている。携帯電話を所持している利用者もいる。家族の協力で外出や外泊・外食・フットケア・リハビリ・墓参・理美容院利用などに出かけている。		
21	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆さんホールで談話されたり、カラオケを楽しんだり、歌を歌ったり、ラジオ体操、散歩に出掛けたりと楽しまれています。仲良く楽しく過ごして頂く為に支援しています。			
22	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたご家族の方が、お花、野菜、季節の物（カレンダー、クリスマスケーキ、おせち等）よく届けて下さいます。規制された際も立ち寄り、思い出話をされたり、身近な方の相談を持って来られたりと交流が続いています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の希望や思いを最優先し、困難時はご家族、職員、職員、主治医などの意見も参考にし、本人と話し合いながら、検討します。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、生活歴を聞くと共に情報収集に努め、その人らしい生活が出来るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方の心身状況を良く観察し、したい事、出来る事を尊重し、大いに力が發揮して頂けるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成に当たっては、ご本人、ご家族、主治医、職員を交えて担当者会議を開き、ご意見、ご希望が反映できるようにしています。	本人や家族を交えた担当者会議を行っている。主治医の意見も踏まえ個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の健康面、生活面、リスク面を記録に残し職員間の情報共有を徹底し介護計画への見直し、評価を実施しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護保険の中のグループホームとして対応する事はやっています。母体が医療法人ですので、体調、栄養管理を支援しています。外出、外食も自由にでき、マッサージ、フットケアを利用されている方もおられます。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防、警察、町内会の協力をお願いし、校区の催し物、運動会、文化祭なども招待を受け参加しています。ボランティアの方も協力的です。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望されるかかりつけ医療機関、病院受診、方針をお願いしています。	受診は本人や家族の希望でかかりつけ医の継続受診を支援している。受診は職員で対応し、結果は家族に報告している。協力医療機関のホットラインを活用したり訪問看護を利用して、緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	母体の医療機関とホットラインを結び、いつでも相談できる体制を整えています。その他の医療機関、訪問看護とも受診、往診、訪問時相談できるようにしています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	医療機関、主治医、看護師、薬剤師、相談員、ご家族と情報を共有し安心して入院して頂き、出来るだけ早く退院できる世に支援します。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時、重度化した時や終末期について、ご家族と話し合いをしています。主治医の意見も取り入れて、必要可能であれば見取りも検討します。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意を得ている。状況変化に伴い随時話し合い家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの指針があり、看取りの経験もある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています</p>	年2回以上の防災避難訓練を行い、消防署の方より緊急時の対応の仕方を学んでいます。ホットラインを開設し24時間対応できるシステムが確立されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会、近隣住民の方、近くのコンビニ、ケアハウスにもご協力をお願いし、避難先も公民館を確保し、避難訓練を行っています。	消防署立会いのもとで夜間想定の避難訓練を年1回実施している。自主で災害報告等の点検や通報の方法などの確認をしている。近隣住民との協力体制もできている。避難先は近隣のコンビニや公民館になっている。スプリンクラーや自動火災報知機・火災通報装置も設置されている。水や食料・缶詰・カップラーメン・カセットコンロなどの備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉の暴力には十分配慮しております。特に目、耳の不自由な方への声掛けには、周りにも配慮しながら行います。ゆっくり、優しく、丁寧にをモットーにしています。</p>	<p>内部研修や外部研修でマニュアルを基に研修を重ね、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけやケアを取り組んでいる。特に視聴覚に不自由な利用者には丁寧に対応している。入室時や入浴・トイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>毎日の生活場面で、話を聞き、顔色、行動、表現などから、ご本人の希望にそえるように働きかけて対応しています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>昼食、夕食の時間はある程度時間を決めていますが、朝食や入浴はご本人の体調や希望を考慮し、きぼうに沿った柔軟な支援を心がけています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ご本人、ご家族の希望や好みを活かし、清潔でいられるように訪問理容などを利用して、髪染や、パーマ、散髪をしたり、お化粧やマニキュアをつけ、おしゃれを楽しめています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の買い出し、下ごしらえ、盛り付け、配膳、下膳、食器洗い、お盆拭き等手伝って下さいます。行事食、出前や外食も盛んで季節の食材も、よく頂いています。目でも楽しませてもらっています。	管理栄養士の助言を得て、旬の食材で、利用者の嗜好に配慮した食事形態を工夫している。週1回は刺身を出している。準備や下膳・食器洗い・お盆拭きを職員と一緒に行ったりしている。誕生日にはケーキを作ったり、季節の行事食・寿司・鰻・ラーメン・牛丼などの出前も楽しみなものになっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事量は毎日記録しこべつに好みの物を提供しています。食事形態も、刻み、ミキサー、トロミ食で、体調に合わせて支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	理念にもうたってあります。毎食後全員の口腔ケアを行っています。自分で出来る方、出来ない方それぞれにあつた、支援を行い、就寝時は義歯を預かり洗浄しています。訪問歯科も利用しています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけて、排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い、昼間はオムツは使用せず夜間もポータブルトイレを使用し自立へむけて支援しています。	排泄パターンを把握し、日中はトイレ誘導や声かけを行ってトイレでの排泄を支援している。夜間は個々の状況により負担のない方法を選択しており、ポータブルトイレやオムツを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表をつけて、排泄パターンを把握し便秘時は、処方されたお薬を使用します。毎日、牛乳、ヨーグルトを提供し、納豆、海藻などを取り入れ、廊下歩行、散歩、ラジオ体操などを行い、体を動かしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を設けています。入浴時間もお好きな時に入って頂き、柔軟に対応しています。	週3回の入浴を基本に、個々人の体調や希望に沿って柔軟に対応している。好みのシャンプー等を使用してゆっくり楽しんでもらっている。保清目的で毎日入浴したり、嫌がる場合はタイミングを見て声かけしている。職員間で連携して情況改善に努めている。同性介助希望にも対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間に身体を動かして頂き、夜間眠る事が出来るように支援し、どうしても不眠の方は昼寝も促しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、看護師、薬剤師などから説明を受けています。薬の変更があった時は、必ず説明をうけて申し送りを行い、情報を共有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備、食器洗い、洗濯物干しやたたみ、掃除などを一緒に行います。好きな事（買い物、ドライブ、散歩、外食等）を把握し個性を活かせるように心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	出来るだけ希望に添えるように支援しています、花見、菊祭り、おはら祭見学、木市、コスマス見学、水族館などへ出かけ、日常的に近くの公園、照国神社への散歩、買い物、ドライブに出かけています。	日常的には近隣の散歩や公園・神社へ出かけている。年間行事計画を立てて、花見・菊祭り・おはら祭り・水族館・木市・六月灯・地域の行事・受診を兼ねてのドライブなどに出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参・理美容院利用の際にも支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	大金はお持ちの方は、おられませんが、財布を持ってお金の管理をされている方もおられます。木市や外出時好きな物を、購入し支払いされる方もあります。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は自由に使えるようにしてあります。家族の方からも定期的に電話がかかってきます。文字を書ける方は、年賀状などを出されています。携帯電話をお持ちの方は、毎日話をされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お好きな絵やお花、写真、季節感のある、飾りつけを行い、特に乾燥に気をつけ、加湿器を設置しています。	玄関には椅子が置いてあり、季節の花が飾ってある。ホールと段差がなく開放感がある。廊下は広く、ドレッサーを利用して死角の解消を図り職員の目がホーム全体に届くよう工夫している。採光や温度・湿度に配慮しエアコン・加湿器で室内環境が快適に保たれている。窓から外の様子も楽しめる。対面キッチンのある食堂にフラットな置スペースが続き、ゆったりと明るい空間となっている。季節感を大事にした飾りつけや行事時の写真が掲示してある。ソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	食事時の席はある程度決まっていますが、その時々でお好きな場所や、ソファや和室で過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた家具、電化製品、仏壇などを持ち込んで頂き安心して生活できるようにしています。	居室には、エアコンや電動ベッドが設置されている。寝具はリースである。テレビやタンス・加湿器・家具・位牌・遺影・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものを持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ハード面での問題はあると思いますが、居室に表札をつけたり、トイレや洗面所に、名前プレートを付けて、迷わず安心して、生活できるように、工夫しています。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全部面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない